

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第3区分

【発行日】令和6年3月25日(2024.3.25)

【公開番号】特開2022-147407(P2022-147407A)

【公開日】令和4年10月6日(2022.10.6)

【年通号数】公開公報(特許)2022-184

【出願番号】特願2021-48636(P2021-48636)

【国際特許分類】

C 0 9 D 1 1 / 3 2 2 (2 0 1 4 . 0 1)

B 4 1 M 5 / 0 0 (2 0 0 6 . 0 1)

B 4 1 J 2 / 0 1 (2 0 0 6 . 0 1)

10

【F I】

C 0 9 D 1 1 / 3 2 2

B 4 1 M 5 / 0 0 1 2 0

B 4 1 J 2 / 0 1 5 0 1

【手続補正書】

【提出日】令和6年3月14日(2024.3.14)

【手続補正1】

20

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

自己分散顔料と、炭素数4以下のアルコールと、非対称アルキルエーテルと、水と、を含み、

前記アルコールの含有量が、インクジェットインク組成物の総量に対して、0.5～15質量%であり、

前記水の含有量が、前記インクジェットインク組成物の総量に対して、10～40質量%であり、

非対称アルキルエーテルの含有量が、インクジェットインク組成物の総量に対して、30～60質量%である、

インクジェットインク組成物。

30

【請求項2】

前記自己分散顔料の含有量が、前記インクジェットインク組成物の総量に対して、1.0～10質量%である、

請求項1に記載のインクジェットインク組成物。

【請求項3】

前記アルコールの含有量が、前記自己分散顔料1質量部に対して、0.1～2.5質量部である、

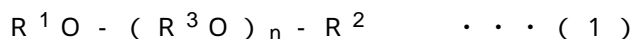
請求項1又は2に記載のインクジェットインク組成物。

40

【請求項4】

前記非対称アルキルエーテルが、下記式(1)で表される化合物を含む、

請求項1～3のいずれか一項に記載のインクジェットインク組成物。



(R¹及びR²は、各々独立して、水酸基、アルキル基、水酸基を有するアルキル基、又はアシル基を示し、R¹及びR²は、互いに異なる基であり、R³は、炭素数が2～4のアルキレン基を示し、nは、1～4の整数を示す。)

50

【請求項 5】

式(1)において、 R^1 及び R^2 における総炭素数が、 n に対して、1.5以下である、請求項4に記載のインクジェットインク組成物。

【請求項 6】

前記非対称アルキルエーテルが、トリエチレングリコールモノメチルエーテル、トリエチレングリコールモノブチルエーテル、及びジエチレングリコールモノエチルエーテルアセテートからなる群より選ばれる1種以上を含む、

請求項1～5のいずれか一項に記載のインクジェットインク組成物。

【請求項 7】

非プロトン性溶剤を含む、

10

請求項1～6のいずれか一項に記載のインクジェットインク組成物。

【請求項 8】

前記非プロトン性溶剤が、2-ピロリドン、1-(2-ヒドロキシエチル)-2-ピロリドン、ブチロラクトン、炭酸プロピレン、及び炭酸エチレンからなる群より選ばれる1種以上を含む、

請求項7に記載のインクジェットインク組成物。

【請求項 9】

前記非プロトン性溶剤の含有量が、インクジェットインク組成物の総量に対して、10～40質量%である、

請求項7又は8に記載のインクジェットインク組成物。

20

【請求項 10】

請求項1～9のいずれか一項に記載のインクジェットインク組成物を、インクジェット法により記録媒体に対して吐出する吐出工程を含む、
記録方法。

【請求項 11】

前記記録媒体が、普通紙である、

請求項10に記載の記録方法。

30

40

50